

親子ねん土教室の開催



【山根学区】

■世帯数：3,548 世帯

■人 口：8,913 人

■面 積：1.706 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 山根コミュニティセンターにて「親子ねん土教室」を年に3～4回開催。延べ参加者数は約 90 人。
- ・ 粘土で作品をつくるという過程の中で親子の結びつきを深めることを目的としている。
- ・ コミセン運営委員会で企画運営している。

【住民へのPR 方法】

コミセンだよりの各戸配布、子ども会を通じて参加の呼びかけ

【アピールポイント】

平成 23 年度よりスタートしたが、学区の子どもと親に確実に定着しており、参加者の増加や開催回数の増加につながっている。

2 きっかけ、背景

子どもと親との関係の希薄化および近隣の人間関係の希薄化に対し、親子による参加でねん土作品づくりを体験する事により、子ども・青少年の健全育成や住民間の交流を深めようと事業を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

コミセン運営委員会、子ども会、ねん土工作の指導者 計約8人

(2) 運営協力

子ども会に呼びかけ、親子の参加を得ている。

4 実施のスケジュール

H24年5月 コミセン運営委員会で開催日を決定
コミセンだよりで日程とタイトルを広報

7月 コミセンだよりで詳細を広報

7月22日 親子ねん土教室の開催
8月19日

12月 親子ねん土教室の開催（クリスマスにちなんだものを作成予定）



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・参加者が回を重ねるとともに増加している。
- ・担当役員の他に子ども会の保護者の中にサポートしてくれる人が数人出てきた。

(2) 苦労した点

- ・活動の担い手が不足しているため、保護者の一部に指導者の手伝いを経験してもらい、将来の担い手になってもらうことに留意してきた。

(3) 今後の課題・展望

- ・活動の継続と担い手の世代交代が課題である。

